

室番号	学校名	特記事項	運営
1	開成	<ul style="list-style-type: none"> ・室内は整理整頓が十分にできている。 ・配慮が必要な児童には加配職員が専属で付き、良好な関係を築いており、当該児童の様子も落ち着いている。 	(株)セリオ
2	山田	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は総合型放課後事業の内容をよく理解しており、職員間や学校との連携が密に行われていた。 ・子どもの様子を観察し、積極的に子どもの話に耳を傾けており信頼関係が構築されている。 ・不定期に子ども会議を開催し、司会や書記を子どもに任せており、子どもの主体性を重視していることがよく伝わった。 ・子ども達があまりおやつを食べたがらないとのことであった。おやつ質の向上を検討しているとのことであるが、おやつを食べたいと思えるようさらなる工夫が必要。 	(株)テノ・コーポレーション
3	香里	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が楽しんでいる様子が、おやつ後の中庭での遊びの姿などでわかる。 ・室から運動場まで遠いという条件の中、職員間の連携や工夫で遊び時間の確保や児童の気持ちに寄り添う努力がなされている。 ・いきいき広場の活動回数が少なく、いきいき広場のスタッフとの交流の機会が取りにくい事情はあるが、連携が不足している。 	直営
4	明倫	<ul style="list-style-type: none"> ・机の配置を工夫し、おやつを食べるスペースと宿題をするスペースをわかりやすく分けていた。 ・オープンスクエアの一角にマットをひき、児童がくつろげるスペースを確保していた。 ・児童を離れたところから見守っていることが多く、積極的な関わりが少なかった。 	直営
5	津田	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日17時～17時30分に職員間で今日の振り返りを行って情報共有をしている。 ・管理的な保育や関わりを行っている場面が多くみられる。例えば、運動場に出るために壁際に児童が並んでおり、職員の「どうぞ」の声掛けを待っている姿がある。 ・広いスペース（前庭・ホール）を保有しているが、活用されていない。 	直営
6	牧野	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が遊ぶスペースを増やすため、保育用ブロックマットを使ってスペースを広げていた。 ・机やロッカーにコーナーガードがついておらず改善を求めた。 	(株)明日葉
7	香陽	<ul style="list-style-type: none"> ・日誌が詳細に書けている（児童の様子や、保護者対応のあるものはなぜそうなったのか、その経緯など）。 ・職員一人ひとりが考えて動けるように、統括責任者が信頼関係を築いている。 ・いきいき広場に関して、地域との連携が密に取れている。 ・避難訓練が毎月実施できていなかったので実施するよう指導した。 	(株)セリオ
10	小倉	<ul style="list-style-type: none"> ・児童会室、オープンスクエア共に子ども達が快適に過ごせるように、整理整頓し遊びのコーナーが作られ、明るい室内、静養室になっていた。 ・女子トイレには、高学年の子どもたちと話をした上で、子どもたちのための生理用品設置の工夫がされていた。 	直営
11	樟葉	<ul style="list-style-type: none"> ・普段から学校との情報共有、連携をしている。 ・トラブル発生時には放課後子ども課にも適切に相談している。 ・子どもたちとも積極的に関わり、子どもが過ごすスペースの確保にも取り組んで、室の環境改善に取り組んでいる。 ・おやつ倉庫の整頓を求めた。 	直営
13	殿山第二	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいき広場のスタッフから、「オープンスクエアかいきいき広場かどっちに行く子分かりづらい」と話があったため、土曜日、9時～9時15分までの間、いきいき広場のスタッフと一緒に門立ちをしている。 ・おやつを段ボールに入れて管理していたため改善を求めた。 ・児童の遊び場所確保への工夫が必要（必要のない棚がおいてある等） 	(株)明日葉
14	蹊跼	<ul style="list-style-type: none"> ・職員同士のコミュニケーションが円滑に図れていた。 ・統括責任者が全体をみれるような体制になっていた。 ・カウンター保育になっていた。 ・児童の出席確認のために、職員が付きっきりになっていた。 ・外遊びの時間の確保について、検討が必要。 	(株)セリオ
15	五常	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から、密に学校と連携を図っている。 ・アレルギー対応について、保護者と綿密な打ち合わせを行い取り組んでいた。 	直営
16	交北	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の連携がよく声をかけあって子どもたちの見守りをおこなっている。 ・子どものスペース作りの工夫がされていた。 ・保護者への書類配布の際、家庭で区別しやすいようにと赤のファイルを使用する工夫ができていた。 	直営
17	菅原	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期から子どもの活動の流れを自由にすることで、穏やかに過ごしている。 ・静養室やトイレの吊戸棚に物が置かれており、落下防止のための手立てがなかったので、改善を求めた。 	(株)明日葉

室番号	学校名	特記事項	運営
18	招提	<ul style="list-style-type: none"> ・室内の片づけが行き届き、机の配置換え、拭き掃除に加え、一部ペンキ塗りもするなど工夫がされていた。 ・明るく広く感じられる環境になっていた。 ・教頭・担任に加え、校長とも児童の情報の共有ができており、よく連携がとれている。 ・おりがみ、写し紙などの使用制限が張り出されており、子どもの意見を聞いて子どもに決定権を持たせたルール作りをするよう改善を求めた。 	直営
19	枚方第二	<ul style="list-style-type: none"> ・統括責任者は、A・B・Cの3班とオープンスクエアを常時巡回している。このため、各班やオープンスクエアの職員や児童の様子も熟知している。 ・配慮の必要な児童について、保護者、枚方子ども発達支援センター、学校、児童会室を含めたケース会議を学期ごとに実施し、情報共有を行っている。 ・配慮の必要な児童について、個別に日常の記録を残している。 ・オープンスクエアでは、学校と連携して、家庭科室や図工室を学校から借用しており、この部屋は宿題をする児童、この部屋は遊びの児童などといったように日によってフレキシブルに住み分けをして実施している。 ・いきいき広場との連携が不足している。 ・避難訓練が毎月実施できていないが、今後実施していくとのこと。 	(株)セリオ
20	田口山	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に落ち着いている。統括責任者をはじめ、どの職員も児童と積極的に関わり、児童一人ひとりに応じた適切な保育が実施できている。 ・統括責任者は、業務全体を統括し、どの班の児童についてもよく把握しており、業務が円滑に実施できるよう必要な指示・調整ができています。 ・室内が適切に整理整頓されており、児童が生活する空間が十分確保されている。 ・児童会室では、下校後は一斉に宿題→おやつ→自由遊びと日課が一律に決まっていることや、オープンスクエアでは細かく帰宅管理を行うなど、全体的に管理的な運営が見られ、児童の主体性を尊重した保育の工夫が必要。 	(株)明日葉
21	中宮	<ul style="list-style-type: none"> ・室内は整理整頓され、児童の遊ぶスペースが確保されていた。 ・おやつを食べる場所、宿題をする場所、遊ぶ場所の区画分けがされていた。 ・生き物の飼育をするなど児童の気持ちに寄り添った保育ができていた。 	直営
22	枚方	<ul style="list-style-type: none"> ・静養室の整理整頓や、落下防止対策等、環境整備に取り組む必要がある。 ・いきいき広場との連携が不足している。 	直営
23	山之上	<ul style="list-style-type: none"> ・レイアウトの変更や、不要な備品の破棄等、子どもたちが過ごしやすくなるための空間づくりに取り組んでいた。 ・アレルギー対応について、一覧表での確認や、職員によるダブルチェックが徹底されていた。 ・いきいき広場との連携が不足している。 	直営
24	津田南	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもとの有効な関係が見られた（特に統括責任者）。 ・外でしっかりと身体を動かすなど、子どもの自由度が高いと感じた。 ・職員がカウンター内にいることが多く、瞬時に子どもに対応できていない様子が見られた。 ・静養室・多目的トイレの整理整頓が必要。 ・配慮が必要な児童に職員全体で必要な対応ができていない。 	(株)明日葉
25	樟葉西	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの仕事内容を文章化し、誰でもわかるようにしている。 ・学校との連携をしっかりと行っている。 ・スタッフが主体的に動いている。 ・掃除・整理整頓が行き届いている。 ・運営への工夫が随所にみられた。（おやつのおかわりで児童に待たせない工夫、コドモン打刻時に帰宅時間を児童自身が把握する仕組み等） 	(株)明日葉
26	樟葉南	<ul style="list-style-type: none"> ・整理整頓がされており、倉庫・静養室がすっきり片付いていた。 ・研修後の職員間での話し合いが十分にされている。 ・教頭、校長ともに運営に協力的で、連携ができています。 	直営
27	菅原東	<ul style="list-style-type: none"> ・5班運営という大きな集団であるが、職員の連携が良い。 ・配慮を要する児童に対しても職員間で声掛けの仕方の振り返りなど細やかな対応をしている。 ・子どもたちが楽しそうに過ごしていた。 	直営
29	蹠陀東	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものニーズに合った玩具が準備されていた。 ・室内の整理整頓が行き届いており、吊り棚の落下防止措置も十分行われていた。 ・コドモンのQRコードがわかりやすく管理されていた。 	直営
30	磯島	<ul style="list-style-type: none"> ・集団の中で孤立した児童がいなか職員が見守りをするよう努めていた。 ・配慮を要する児童についての個別記録がされている。 ・避難時（洪水時）における渚高校との連携が図れている。 ・整理整頓が必要。 	(株)テノ・コーポレーション

室番号	学校名	特記事項	運営
31	氷室	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議等で説明のあった運営方針や保育方針について、職員間で話し合いを行い、必ず意見を合わせてから保育に取り組んでいる。 ・児童会室、オープンスクエアともに、整理整頓されており、生活空間が確保されている。 ・水曜日で全学年一斉におやつを食べる際に、一斉のごちそうさまの挨拶のために再度座っていた机の位置に座るよう促す等、管理的な運営をしている姿があった。 ・宿題やおやつのためのスペースが多く、自由に遊べるスペースが少なかった。 	直営
32	藤阪	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの工夫をしていて、子どもたちが楽しんでいる姿がある（ハロウィンパーティーなどの行事も実施）。 ・保護者に安心してもらうために、子どもの様子をおたよりなどで丁寧に伝えている（別号も配布）。 ・注意する内容の声掛けが多く、カウンター内からの指示も多い。 ・静養室、トイレなどの吊り棚の落下防止措置がされていない箇所があったため、改善を求めた。 ・おやつスペースと宿題スペースが多く、遊びのスペースが限られている。 	(株)明日葉
33	平野	<ul style="list-style-type: none"> ・以前受けた苦情について、改善しようとする姿勢が見られた。 ・児童が使う折り紙を1日1枚と決めて渡していた。理由は無駄遣いする児童がいるためということだが、ルールの改善を求めた。 ・参加児童が多く、ルールについて話し合うのが難しいとのことだが、児童に寄り添い、主体的な居場所となるよう改善が必要。 ・静養室の整頓が必要。 	直営
34	桜丘	<ul style="list-style-type: none"> ・静養室、倉庫内の整理整頓がされている。 ・アレルギーを持つ児童についての対応がされている。 ・学校との連携がとれている。 ・保護者対応がしっかりとできている。 	直営
35	殿山第一	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習に行き感じた事をすぐに職員間での学びとし、改善を行っていた。 ・保育室の空間作り、子どものためのコーナー作り、静養室、倉庫等、子どもたちが過ごしやすくなるための空間づくりに取り組んでいた。 ・子どもが「ちょっと来てここで寝転がったりできる…」と喜んで案内してくれた。 	直営
36	春日	<ul style="list-style-type: none"> ・学校やいきいき広場事業者との関係づくりが積極的にされている。 ・静養室、倉庫内の整理整頓がされている。 ・保護者対応ができている。 ・学習スペース、おやつスペース等、適切なスペース使用ができている。 	直営
37	西牧野	<ul style="list-style-type: none"> ・室内は整理整頓され、机の配置などを工夫し、子どもがゆったり過ごせるスペースが確保できていた。 ・職員は子どもの様子をよく観察しており、信頼関係がしっかり構築されていた。 ・あそびの提案ポストを設置するなど、子どもの声をしっかり受け止めており、子どもがやりたい事を発言できる環境づくりができている。 ・子どもが遊びの企画を考え、実行していく取組が十分できるよう職員が支援しており、楽しい様子が伺えた。 ・英語リトミックを取り入れるなど遊びに様々な工夫がされていた。 	(株)テノ・コーポレーション
38	山田東	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの考えや思いを聞いて保育をしていくよう職員間で話し合いを進めていた。 ・室内は整理整頓され、子どもがゆったりできるスペースが確保されていた。 ・職員が子どもと一緒に遊び、様々な遊びを提供していた。 ・外遊びや体育館での遊びでは児童会室利用児童と放課後オープンスクエア利用児童の交流が活発に行われていた。 ・職員の中で「良いこと、悪いことをしっかり教える」という思いが強く、子どもへの関わり方に管理的な傾向がみられた。注意する前に、子どもの思いを聞くよう改善する努力はみられた。 	(株)テノ・コーポレーション
39	蹉跎西	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮児童について、学校と連携を図りながら取り組んでいた。 ・全体で、正座、いただきます、ごちそうさまでした、児童を並ばせてからの外遊びを行うなど、管理的な運営がされていた。 ・オープンスクエアでも、児童の帰宅時間を管理しており、事業の主旨に沿った運営を行うよう改善を求めた。 	(株)セリオ
40	長尾	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に児童が落ち着いて過ごしている。 ・職員の児童への叱責等も見られず、児童一人ひとりに合わせた適切な保育が実施できている。 ・環境面は適切に整理整頓されており、児童が生活する空間が十分確保されている。 ・配慮を要する児童については、個別に加配職員を配置し、周囲の刺激を減らして落ち着けるスペースを用意するなど適切な対応がとられている。 ・下校後は一斉におやつ→宿題→自由遊びの日課が決められていることや、水分補給の時間も一律に決めている、OSでも細かく帰宅管理をするなど、全体的に管理的運営が見られる。 ・避難訓練が毎月実施できていなかったため実施するよう指導した。 	(株)明日葉
41	川越	<ul style="list-style-type: none"> ・学校との連携ができている。 ・静養室、倉庫内の整理整頓がされている。 ・保護者対応がしっかりとできている。 ・日誌が丁寧に書かれている。 	直営

室番号	学校名	特記事項	運営
42	桜丘北	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の気持ちを大切にしたり関わりを全職員がしている。 ・職員の児童への関りが、児童にいい影響を与えている。 ・児童が主体的に考え行動できるような環境づくりが行われている。 ・統括責任者が職員個人を理解し、適切な指示を与え、良い環境づくりをしている。 ・学校との会議の場を持つ等、学校との連携が取れている。 	(株)テノ・コーポレーション
43	樟葉北	<ul style="list-style-type: none"> ・児童がのびのびと主体的に遊んでおり、統括責任者をはじめ多くのスタッフが児童と積極的に遊んでいた。 ・統括責任者は業務全体を統括し、業務が円滑に実施できるよう必要な指示・調整ができています。 ・スタッフがカウンター内に立っている姿がみられた。 	(株)明日葉
44	船橋	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が遊ぶスペースを増やすため、保育用ブロックマットを使ってスペースを広げていた。 ・運動場が使えないとき（モニタリング当日は運動会前日）に、体育館を借りる等、学校施設を活用していた。またオープンスクエア・児童会室の児童と一緒に体育館で遊ぶなど、連携ができていた。 ・机やロッカーにコーナーガードがついておらず改善を求めた。 	(株)明日葉
45	東香里	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日ミーティングを行い、職員間で情報の共有を図っている。 ・アレルギー児童の保護者に対して、おやつで食べたものを共有し、保護者が安心できるよう心掛けていた。 ・静養室におやつが置いてあり、児童がくつろげるような空間の確保がある。 ・避難訓練が毎月実施できていなかったので実施するよう指導した。 	(株)セリオ
46	伊加賀	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの遊び場として広いスペースを確保していた。 ・ミーティングにおいて、児童の様子等の詳細を職員全員で情報共有していた。 ・帰宅管理について、ホワイトボードやネームプレートなどを使用して、職員全員が一目瞭然になるような工夫をしていた。 ・遊びの選択肢が多く、子どもたちが楽しく遊ぶ姿も見られ、職員による叱責もなかった。 ・倉庫等において、吊り棚の落下防止措置がされていない箇所があったため、改善を求めた。 	直営
47	西長尾	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮を要する児童について、周囲の刺激を減らして落ち着けるスペースを用意し、加配職員が個別について対象児童の気持ちに寄り添った保育するなど適切な配慮と対応がとられている。 ・他の入室児童についても自由で主体的な遊びができるよう、充実した環境整備がなされている。職員の叱責等も見られず適切な対応がとられており、全体的に児童たちが落ち着いて過ごしている。 ・避難訓練が毎月実施できていなかったので実施するよう指導した。 ・オープンスクエア利用児童の怪我について、保護者への連絡漏れ等適切な対応ができていなかったため指導した。 	(株)明日葉
48	禁野	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が児童の輪に積極的に入って遊んでいた。 ・集中して宿題ができるスペースが確保されていた。 ・室内は整理整頓され、明るい雰囲気であった。 ・職員が作業を優先し、児童の様子を見守っていない場合があった。 ・オープンスクエアの一角に物品が置かれており、ロッカーを配置するなど、児童の遊ぶスペースを拡張するための工夫が必要。 	直営

室番号	学校名	特記事項	運営
1	開成	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が自由に遊びを選び、孤立せず主体的に過ごせる環境が整えられている。 ・室内は整理整頓されているが、児童が落ち着いてくつろげるスペースの設置など、さらなる環境整備が必要である。 ・日直や当番制によるおやつや外遊びの待ち時間が長くなる傾向があったため、主体的に取り組めるよう声かけや関わり方の工夫を指摘した。その結果、管理的な関わりから児童自身が自由に活動を選び主体性を育む支援へ改善が見られた。 ・全職員が連携を意識し、チームとして活動に臨んでいる。 	(株)セリオ
2	山田	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は児童が安心して楽しく過ごせるよう努め、共に遊びを創る姿勢がみられる。今後の保育実践の充実が必要である。 ・環境整備では、施設周辺の安全・安心に配慮した見直しを指摘し、その後、倉庫活用などで改善が進められた。 ・安定かつ継続的な職員体制の強化が必要である。 	(株)テノ・コーポレーション
3	香里	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が自由に遊びを選び、主体的に過ごせる環境が整っている。 ・特別な配慮を要する児童だけでなく、すべての配慮児童に対して適切な保育を行うことが必要である。 ・運営を円滑に進めるため、指示・調整・報告などの対応に努めることが必要である。 	直営
4	明倫	<ul style="list-style-type: none"> ・書類は整理され、児童スペースのレイアウトも工夫されている。室内は明るく開放的な雰囲気を保っている。 ・特別な配慮を要する児童には真摯に向き合っているが、見守りが途切れることもあり、職員間の連携を一層円滑にする必要がある。より丁寧な対応を実現するため、室全体で児童の状況に合わせた支援が必要である。 ・見守り対象児童の状況把握や連携体制に課題があり、職員間のコミュニケーションをより円滑にすることが必要である。 	直営
5	津田	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の広さと倉庫の充実により、戸棚や静養室、トイレが整理整頓され、すっきりしている。 ・児童の思いや意見に耳を傾ける姿勢はあるが、最終的には職員主導になる傾向があるため、児童の声をより一層反映させることが必要である。 ・幼稚園からの施設の特長を活かし、保育の充実を図ることが必要である。ホール(旧遊戯室)は日常の遊び場として、児童の意見を尊重し活用を進めることが必要である。 ・配慮を要する児童への対応が対処的になりがちなので、一人ひとりの発達段階に合った支援が必要である。 	直営
6	牧野	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は児童と積極的に関わり、信頼関係を築いている。児童の様子を注意深く観察し、その成長をおたより等で保護者に適宜伝えている。 ・職員全体で見守り方法を共有し、指示や調整、報告などを円滑に行う取り組みが必要である。 ・行事は児童の意見を聞く機会はあるが、職員主導になりやすいため、児童が主体的に参加できる声かけや関わりが必要である。 ・活動スペース確保のため机の配置に工夫を促しており、児童が落ち着いて過ごせ、多様な遊びができる環境整備が必要である。 	(株)明日葉
7	香陽	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が自ら考え、行動できるよう工夫されたスペースが整備されている。 ・児童は自発的に興味・関心に基づき活動を展開しており、部活動のような主体的なグループ形成も見られる。 ・オープンスクエア所属児童の体育館利用は、2学期に児童数の多さから控えられていたが、時間制や学年別利用の工夫を指摘し、利用方法が改善された。 	(株)セリオ
10	小倉	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的に活動できる環境を整え、遊びに関するアンケートや児童と共にルールを決める取り組みを日常的に行っている。 ・職員は自分の役割を自覚し、ボードに掲示して視覚的に役割分担を明確化している。運営の注意点も全員で共有している。 ・児童会室・オープンスクエア両方で、児童が快適に過ごせるスペースを確保するとともに、定期的に配置替えを行い、環境改善に努めている。 ・おやつ倉庫、静養室、多目的トイレも整理され、保管物には分かりやすいラベルが付けられている。 	直営
11	樟葉	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮を要する児童に寄り添った適切な保育が行われ、児童同士が互いを認め合い、多様な背景を受け入れ合う土壌が整っている。 ・児童主体の活動(例：けん玉)も始まったが、児童が自分のやりたいことに気づき、周囲に伝えるには時間がかかる。職員が意識的に「待つ」時間を作ることで、より主体的な活動が促されることが必要である。 ・職員間で声かけや意識共有が進むことで、室全体に児童に寄り添う保育理念が広まる必要がある。 	直営
13	殿山第二	<ul style="list-style-type: none"> ・広いB班の保育室(旧遊戯室)があるものの、児童の生活空間として十分に活用されていない。児童の意見を取り入れ、多様な遊びができるコーナーを設けるなど、より良い保育環境の整備が必要である。 ・おやつ待ち時間など、一斉行動が多く管理的な運営となっている。配慮が必要な児童も含め、児童の主体性を尊重した保育の実践が必要である。 	(株)明日葉
14	蹉跎	<ul style="list-style-type: none"> ・「こども真ん中」の理念を重視した運営がなされており、配慮が必要な児童への対応も適切である。児童と職員は一緒に遊び、そばで見守る良好な関係を築いている。 ・職員間の連携が良好で、職員全員の意見を積極的に取り入れている。全員で考え合う風土が根付き、優れたチームワークが発揮されている。 ・児童会室においては、机の配置を工夫することで、より自由で主体的な活動が可能な環境になると考えられる。 ・オープンスクエアの入退室管理を職員が全て行うのは、主体的な活動の趣旨に反するため、指摘した結果、児童が時間管理を主体的に行うよう改善された。 	(株)セリオ

室番号	学校名	特記事項	運営
15	五常	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生日会では、多くの児童が司会を希望するなど、主体的に楽しめる工夫がされている。 ・オープンスクエア（体育館会議室）の荷物や靴の置き場について整理整頓の必要性を指摘した。児童が適切に活動できるスペース確保の工夫が必要である。 ・児童の見守り方針は会議を通じて改善されているが、今後はさらに積極的に児童と関わり、信頼関係を築き、そばに寄り添って話を聴くなど実践に結びつけることが必要である。 	直営
16	交北	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的に活動できる環境を整え、意見を募るポスト設置や意見の全体フィードバックなど、日常的に児童の声を反映する仕組みを工夫している（例：「〇〇が欲しい」「居酒屋ごっこをしたい」など）。 ・配慮を要する児童が多いオープンスクエアでは、職員全員が意識して関わる体制を築いている。サポート員も総合型放課後事業の運営を意識し、オープンスクエアと児童会室で交代制で支援を行っている。 ・オープンスクエア（図工室）にはビーズクッションやマットを広く配置し、児童がくつろげる快適な空間を確保している。 ・室の円滑な運営を図るため、必要な指示・調整・報告に努めることが必要である。 	直営
17	菅原	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が自由に遊びを選び、孤立せず主体的に過ごせる環境が整っている。 ・室内は整理整頓されているが、児童がゆったりとくつろぎ、好きな遊びを楽しめるスペースをさらに充実させることが必要である。 ・室の運営が円滑に行われるよう、必要な指示・調整・報告に努め、今後はチームとして運営体制を強化することが必要である。 ・安定的かつ継続的な職員体制の充実が必要である。 	(株)明日葉
18	招提	<ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な家庭が多い中、学校と緊密に連携し、丁寧に児童や保護者に対応している。 ・児童に適した遊びや活動の場として、雨天時に余裕教室を有効活用する工夫がある。 ・主体性を育むため、クッキングのメニューに関する投票箱を設置し児童の意見を集めている。今後は、意見へのフィードバック方法を工夫し、さらに意見を出しやすい話し合いの場を設けることが必要である。 	直営
19	枚方第二	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮を要する児童が落ち着いて好きな遊びに取り組み、保護者と職員が児童を真ん中に据えた対話ができている。 ・行事は従来職員主導だったが、今年度は児童も提案段階から関わり、役割を自分で決めて主体的に活動しており、主体性を尊重する姿勢が明確に現れている。 ・エピペン携帯児童の日々の確認は適切に行われている。その記録を日誌に残すことを指摘した。 	(株)セリオ
20	田口山	<ul style="list-style-type: none"> ・おやつや宿題、遊びなど、児童が自ら選び、主体的に過ごせる環境が整っている。 ・外国籍の児童には、日本語・英語・中国語とイラストを用いたカードを作成し、他の児童や職員との円滑なコミュニケーションを促す工夫がされている。 ・保育環境については、児童がよりゆったりとくつろげるスペースを確保することが必要である。 	(株)明日葉
21	中宮	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が児童と積極的に関わり、信頼関係の構築に努めている。 ・児童の人格や主体性を尊重した保育が行われており、児童が職員を信頼している様子が見られる。 ・書類の作成、提出、保管について、より適切な管理が必要である。また、会議報告書の保存場所など、パソコンでのデータ管理も職員間で統一した運用を行うよう指摘した。 	直営
22	枚方	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的に活動できるよう、活動内容や保育室の環境が適切に整備されている。 ・室の運営が円滑に行われるよう、必要な指示・調整・報告に努め、見守りや保育の理念を職員全員で理解・共有している。今後はチームとしての運営体制の強化が必要である。 ・オープンスクエアには職員が日々担当として入り、サポート員と連携し、見守りの配置も適切に行われている。 ・食物アレルギー対応児童のおやつのおかわりについては、職員間で声を掛け合い、ダブルチェックを行う必要性を指摘し、その後、改善されている。 	直営
23	山之上	<ul style="list-style-type: none"> ・室の運営が円滑に行われるよう、必要な指示・調整・報告に努め、職員同士の話し合いで気づきを共有し、より良いチームづくりを目指すことが必要である。 ・サポート員への事務連絡は、ロッカーに掲示した用紙に記入し、確認後サインする方法で周知徹底を図っている。 ・おやつ棚は整理整頓されているが、害虫対策として今後は蓋つきのプラスチック収納ケースの使用するよう指摘した。 	直営
24	津田南	<ul style="list-style-type: none"> ・児童は登室後、それぞれの意志で宿題を始めたり手を洗っておやつを食べたりしており、「児童が選ぶ」という理念が自然に実践されている。 ・児童が職員に日常の出来事や考えをよく話しかけており、良好な関係が築かれている。 ・室内は整理整頓されており、トイレ備品の落下防止のため高所の配置替えを指摘し、速やかに改善された。 ・職員は毎日三つの班とオープンスクエアを巡回し、児童会室とオープンスクエアの児童が校庭や体育館で遊べる機会を確保している。 ・ミーティングや会議で全児童の状況を職員全員が把握できる体制が整っている。 	(株)明日葉
25	樟葉西	<ul style="list-style-type: none"> ・室内は整理整頓され、掲示物も分かりやすく配置されている。遊具の使用ルールは学校と連携し、共通理解が図られている。 ・オープンスクエアは職員が毎日確認し、ローテーションで児童会室と巡回している。全職員が児童一人ひとりの様子を把握できる体制が整っている。 ・配慮を要する児童については、職員全員が会議で気づきを共有し、成長や変化を見守り、適切な保育を行っている。 ・トイレや職員休憩室の棚の落下防止対策を指摘し、その後、改善された。 	(株)明日葉
26	樟葉南	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が二つの班を横断して巡回しながら保育にあたり、児童を適切に見守る体制を整えている。 ・児童と職員の良好な関係があり、児童会室とオープンスクエアの両方で落ち着いた運営が行われている。 ・食物アレルギー対応児童のおやつは、一目で分かるように児童のお皿ごとに食品保存用袋で管理する工夫を指摘し、速やかに実施された。 	直営

室番号	学校名	特記事項	運営
27	菅原東	<ul style="list-style-type: none"> ・職員体制を工夫し、配慮を要する児童への支援を充実させている。 ・オープンスクエアも利用人数が多いため、職員体制を工夫し、連携しながら円滑に運営している。 ・室の運営を円滑に行うため、必要な指示・調整・報告に努めることが必要である。 	直営
29	蹉跎東	<ul style="list-style-type: none"> ・見守りや保育の方針について、具体的な場面を想定し、どのような対応や声かけを行うかを職員間で話し合っている。 ・児童が適切に遊べるよう、遊びのスペースを拡充するなど工夫している。 ・誕生日会のカードにはお祝いの言葉と共に、児童の良い点を積極的に書き、関係づくりに努めている。 ・主体性を育むため児童アンケートを実施しているが、職員主導になることもあるため、児童の意見を尊重し主体的に取り組める環境づくりが必要である。 ・いきいき広場との交流機会が少ないため、今後は連携をより強化することが必要である。 	直営
30	磯島	<ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な家庭が多い中、学校と連携して保護者に丁寧に対応している。 ・おやつを一齐に食べるなど管理的な保育傾向があるが、遊びや宿題などの場面でも児童の主体性を育てる工夫が必要である。 ・室の運営を円滑にするため、指示・調整・報告に努め、チームとしての体制強化が必要である。 ・安定的かつ継続的な職員体制の充実が必要である。 ・配慮を要する児童には個別記録を作成し職員間で共有するなど寄り添った対応が行われている。今後は具体的な指示・調整・報告を徹底し、発達段階や心情に応じた保育を充実させることが必要である。 	(株)テノ・コーポレーション
31	氷室	<ul style="list-style-type: none"> ・児童はおやつ、宿題、遊びを自ら選び、主体的に生活している。 ・児童の見守りでは、状況に応じた適切な対応ができるよう、職員全員で話し合い理解を深め、具体的なフィードバックを行うことが必要である。 	直営
32	藤阪	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が片付けやすく、ゆったりくつろげるスペースも確保されている。 ・職員全員が配慮が必要な児童も含め、全ての児童に寄り添い、気持ちを尊重した丁寧な関わりを心がけている。職員間の話し合いや情報共有も円滑に行われている。 	(株)明日葉
33	平野	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型放課後事業の運営に、職員全体が参加し意見交換を行う基盤が徐々に整いつつある。 ・運営は概ね良好だが、児童の主体性の面では、職員発信で保護者会行事の提案が行われ、児童が賛同する形が見受けられた。 ・室の運営が円滑に行われるよう、必要な指示・調整・報告に努めているが、今後は保育場面での職員同士の連携をさらに重視した体制づくりが必要である。 	直営
34	桜丘	<ul style="list-style-type: none"> ・見守りや保育の方針は職員全体で共有され、児童会室やオープンスクエアで職員が積極的に児童と関わり、良好な関係を築いている。 ・オープンスクエアは配慮を要する児童が多いため、会議で状況や対応策を共有し、職員全体で把握に努め、総合型放課後事業として適切に運営している。 ・見守りに対する意識が高く、学校と情報共有し連携しながら、適切な対策を講じている。 	直営
35	殿山第一	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的に活動する基盤が整いつつある。例えば、野菜のプランター栽培では「何を育てたいか」「一緒に苗を植えよう」と声を掛け、自発的に取り組める環境が作られ、児童が楽しみながら世話をし収穫を喜んでいる。 ・児童の見守りでは、状況に応じた適切な対応ができるよう、職員全員で話し合い理解を深め、具体的な実践を続けることが必要である。 	直営
36	春日	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な配慮が必要な家庭が多い中、学校と密に連携し、保護者と児童に丁寧に対応している。 ・オープンスクエアには児童がゆったり過ごせる工夫されたスペースがある。 ・配慮を要する児童には特性や発達段階に応じた適切な保育を行い、職員間での指示や調整も円滑に行う体制が整っている。 	直営
37	西牧野	<ul style="list-style-type: none"> ・児童はおやつ、宿題、遊びを自分で選び主体的に過ごしている。遊びの計画も児童から提案があり、企画書作成など積極的な活動が見られる。 ・室内は整理整頓され、自由に使えるスペースが多く、ゆったり過ごせる環境が整っている。 ・児童の見守りは、状況に応じた適切な対応ができるよう職員全員で話し合い理解を深め、具体的に実践していくことが必要である。 	(株)テノ・コーポレーション
38	山田東	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮を要する児童への対応については、学校と積極的に連携している。 ・宿題やおやつの順序が固定されていたが、児童が自由に選べる工夫の必要性を指摘した結果、改善された。 ・スペースの活用について、児童が自由に遊び、ゆったり過ごせる環境づくりを指摘した結果、改善された。 ・見守りや保護者対応は、状況に応じた適切な対応ができるよう、職員全体で話し合い理解を深め、具体的に実践していくことが必要である。 	(株)テノ・コーポレーション
39	蹉跎西	<ul style="list-style-type: none"> ・おやつ、宿題、遊びのスペースが適切に確保され、児童が主体的にイベントの企画・運営を行う取り組みがある。 ・職員全員が業務を円滑に行うため、月に一度、研修を兼ねた全職員参加の意見交換の場を設けている。今後は全体を統括する視点を持ち、チーム力の向上に努めることが必要である。 ・食物アレルギー対応児童のおやつは、複数職員による声掛けを含むダブルチェック体制の必要性を指摘し、その後、改善されている。 	(株)セリオ
40	長尾	<ul style="list-style-type: none"> ・お店屋さんごっこや誕生日会では、児童が意見を出し、リーダーなどの役割に主体的に立候補して主体的に活動している。 ・運動場で遊ぶ際、外に出たい児童全員が他の児童の玩具片づけを待つ場面があったため、事前に外遊びの時間を知らせ、主体的な片づけを促す声かけの重要性を指摘した。 ・職員は児童のそばで一緒に遊びながら関わり、トラブルを未然に防ぐ適切な見守りを行っている。 	(株)明日葉

室番号	学校名	特記事項	運営
41	川越	<ul style="list-style-type: none"> ・児童はおやつ、宿題、遊びを自ら選び、主体的に生活している。 ・多様な家庭環境に配慮し、児童や保護者に丁寧に対応している。 ・ミーティングノートに対応内容を記録し、職員間で確実に連携している。 ・いきいき広場と緊密に連携し、菜園活動などで協力しながら児童の参加状況を共有している。 	直営
42	桜丘北	<ul style="list-style-type: none"> ・児童から企画係を募り、スポーツ大会を開催するなど、主体性や社会性を育む活動に積極的に取り組んでいる。 ・部屋はアコーディオンカーテンで仕切られ、遊びと宿題のスペースが適切に確保され、児童が落ち着いて活動できる工夫がされている。 ・児童の見守りは、状況に応じた適切な対応ができるよう職員全体で話し合い理解を深め、具体的に実践するとともに、互いに声を掛け合い連携を強化することが必要である。 ・職員の机上の整理や折り畳み機の削減など、児童が安心できる環境整備の必要性を指摘した。 ・配慮を要する児童については、周囲と良好な関係を保てるよう傍で寄り添い丁寧な保育を行うことが必要である。 	(株)テノ・コーポレーション
43	樟葉北	<ul style="list-style-type: none"> ・室内は整理整頓され、児童がゆったり過ごせるスペースづくりが進んでいる。 ・職員は児童との信頼関係の構築のため、全体で話し合い連携・対応を強化する必要がある。 ・児童への寄り添った対応や丁寧な声掛けを心がけることが必要である。 ・保護者からの苦情には誠意をもって対応することが必要である。 	(株)明日葉
44	船橋	<ul style="list-style-type: none"> ・児童は主体的に考え行動し、職員も共に楽しみながら活動に参加している。 ・見守り方法が職員間で共有され、個々の状況に応じた適切な対応が行われている。 ・環境整備は十分に行き届いている。 	(株)明日葉
45	東香里	<ul style="list-style-type: none"> ・児童は職員と共に楽しみながら落ち着いた時間を過ごしている。 ・全職員が児童に寄り添い、統一された見守り配置と役割分担で連携を図っている。 ・児童の主体性を尊重し、やりたい活動のアンケートを実施している。クリスマス会などの行事は児童の委員が中心となり企画・運営している。 ・連絡や報告が口頭のみとなっているため、ミーティングノートの活用を促進することが必要である。 	(株)セリオ
46	伊加賀	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的に活動できるよう、活動内容や保育室の環境が適切に整えられている。 ・見守りや保育の理念は職員全体で共有されているが、状況に応じて全員が的確に対応できるよう、具体的な話し合いを続けていく必要がある。 ・室の運営を円滑にするため、指示・調整・報告に努め、チームの連携を強化することが必要である。 ・オープンスクエアではサポート員と良好に連携し、見守り配置も適切に行われている。 	直営
47	西長尾	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮を要する児童に対して、個別に落ち着けるスペースを設け、気持ちに寄り添った適切な保育を行っている。 ・児童が主体的に遊びや活動に取り組めるよう、意見を取り入れ、共に考えながら進めることが必要である。 	(株)明日葉
48	禁野	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の見守りや保育の理念は全職員で共有されているが、声掛けを含む連携を強化し、全員が状況に応じて適切に対応できるチーム力の向上が必要である。 ・食物アレルギー対応児童へのおやつは、複数職員による声掛けを伴うダブルチェック体制の必要性を指摘し、その後、改善された。 ・配慮を要する児童が快適に過ごせるよう、状況に応じて室の移動等で環境調整を行っているが、更なる職員間の密な連携で適切な保育を進めることが必要である。 	直営